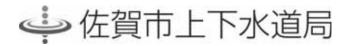
令和元年度 佐賀市上下水道事業統計年報

(平成31年4月1日~令和2年3月31日)



はじめに

この年報は、第1章「組織」、第2章「財務」、第3章「上水道編」、 第4章「工業用水道編」、第5章「下水道編」の5編で構成され、上 下水道局の組織や財務状況(水道事業・工業用水道事業・下水道事 業)、また、各事業の事業実績、業務統計や料金体系などについて、 佐賀市上下水道事業の運営状況を明らかにするために、毎年統計資 料を収集し発行するものです。

資料は、原則として令和元年度の決算値(令和2年3月31日現在) を掲載しています。なお、時系列データの掲載期間については、資料 の性質及び編集の都合により適宜省略して掲載しています。

また、水道事業の財務状況につきましては、佐賀市簡易水道事業を 平成27年度末に廃止し佐賀市水道事業へ統合したため、平成28 年度からは統合後の財務状況を掲載しております。

目 次

								頁
佐賀市	j ()	状沥	2					
1	位	置と地	也勢					1
2	市	勢 …						1
第1章	三.	組織	兌					
1	機				構		1 -	1
2	職	員	酉己	置	表		1 -	1
3	年	齢別	職	員 構	成		1 -	2
4	勤	続年数	女另门耳				1 -	2
5	歴	代事	業	管 理	者		1 -	3
6	事	務		分	掌		1 -	4
第2章	至.	財務	C J					
1	水	道马	事 弟	美 会	計		2 -	1
2	下	水道	事	業 会	計		2 -	8
3	工	業用才	く道	事業会	計		2 -	15
第3章	至.	上水	〈道	編				
第1	節	事	業	\mathcal{O}	概	況		
1	事	業	\mathcal{O}	沿	革		3 -	1
2	年				表		3 -	7
3	事	業		経	過		3 -	15
4	事	業	\mathcal{O}	推	移		3 -	17
第2	節	施				設		
1	施	設の	所在	进一	覧		3 -	19
2	位		置		図		3 - 3	21
3	浄	7k	場	施	設		3 -	22

4	管	種	別	延	長		3 - 3	6
第3	節	取力	火•	給っ	火 統	計		
1	取		水		量		3 - 3	7
2	給		水		量		3 - 3	8
3	薬		使	用	量		3 - 3	9
4	水	質試	験	成 績	表		3 - 4	1
5	試	験 室	設	備一	式		3 - 4	7
6	電	力量及	なび言	電力料	全月	別表	3 - 48	8
第4	節	給力	火装	置工	事•	量水器統計		
1	給	水装置	置工 3	事施コ	上 状 沥	<u>.</u>	3 - 5	1
2	量	水器認	设置(固数、	量水	な器取付・取替・撤去	3 - 5	2
第5	節	業	矜	·	充	計		
1	酉己	水		分	析		3 - 5	3
2	加	入金の)推和	多と変	遷		3 - 5	4
3	用	途別侵	を用っ	水量状	沈		3 - 5	6
4		径別傾	を用っ	水量状	沈		3 - 5	8
5	検	針美	業 彩	务 状	況		3 - 5	9
6	水	道料金	2調月	定及び	収入	、状況	3 - 6	0
第6	節	資				料		
1	水	道料	金	の変	遷		3 - 6	3
2	協	定水量	まとり	用水崩	低価の)経緯	3 - 6	7
3	広	報		活	動		3 - 6	9
4	神!	野浄オ	く場)	及び神	野第	52浄水場水処理フロー図	3 - 7	1
第4章	至.	工業	制	水道	編			
1	事	業	\bigcirc	経	緯		4 -	1
2	現	在の	給	水状	況		4 -	1
3	施	設の	の良	斤在	地		4 -	1
4	施	設の	の右	上置	図		4 -	2

5	浄 水 場 施 設	4 - 2
第5章	5. 下水道編	
第1	節 公共下水道事業	
1	事業のあゆみ	5 - 1
2	基本計画と事業計画	5 - 15
3	整備状況	5 - 21
4	普及状況	5 - 22
5	建設事業投資状況	5 - 25
6	汚水処理施設	5 - 27
7	ポンプ場	5 - 29
8	管渠の維持管理	5 - 38
9	水洗便所改造資金融資あっせん状況	5 - 38
1 0	下水道使用料	5 - 39
1 1	責任技術者及び排水設備指定工事店制度	5 - 40
1 2	受益者負担金	5 - 41
13	公共下水道維持管理費決算状況	5 - 43
1 4	企業債に関する調	5 - 43
第2	節雨水事業	
1	雨 水 路 整 備	5 - 45
2	水環境整備事業	5 - 46
第3	節 特定環境保全公共下水道事業	
1	事業のあゆみ	5 - 47
2	基本計画と事業計画	5 - 52
3	整備状況	5 - 52
4	普及状況	5 - 53
5	建設事業投資状況	5 - 53
6	汚水処理施設	5 - 54
7	ポンプ場	5 - 57
8	水洗便所改造資金融資あっせん状況	5 - 58
9	使用料収入状況	5 - 59

1 0	企業債に関する調	5 - 59
第4	節農業集落排水事業	
1	事業のあゆみ	5 - 61
2	基本計画と事業計画	5 - 66
3	整備状況	5 - 67
4	普及状況	5 - 69
5	建設事業投資状況	5 - 70
6	汚水処理施設	5 - 71
7	水洗便所改造資金融資あっせん状況	5 - 86
8	使用料収入状況	5 - 87
9	企業債に関する調	5 - 88
第5	節 市営浄化槽事業	
1	事業概要	5 - 89
2	事業計画	5 - 89
3	整備状況	5 - 90
4	普及状況	5 - 91
5	建設事業投資状況	5 - 91
6	水洗便所改造資金融資あっせん状況	5 - 92
7	使用料収入状況	5 - 92
8	企業債に関する調	5 - 93
第6	節資料	
下力	K道事業の業務状況(まとめ)	5 - 95
佐賀	買市下水道等エリアマップ	5 - 97

佐賀市の状況

1 位置と地勢

佐賀市は、有明海に面した佐賀平野のほぼ中央に位置し、旧鍋島藩35万7千石の城下町で農業を中心として栄え、古くから県政、教育文化及び商工業の中心都市として発展してきました。

平成17年10月1日には諸富町、大和町、富士町及び三瀬村と合併し、脊振山地から有明海へと広がる新たな県都「佐賀市」が誕生し、福岡市と大川市の2箇所で福岡県と接することになりました。さらに平成19年10月1日には川副町、東与賀町及び久保田町と合併し、人口236,372人(平成27年国勢調査)、面積431.84平方キロメートルの市となっております。

地形は、北部の脊振山地に位置する山間地帯と南部の有明海に向かって広がる沖積平野で構成されており、嘉瀬川が両地域を結ぶ自然環境に恵まれた地域です。

また、佐賀平野を流れる嘉瀬川、筑後川は有明海へと流れ込み、市南部の中小河川を含む大半は有明海の感潮区域でもあります。

この平野部の地質は軟弱であり、地表より20~25mまでは粘土、シルト、砂質が複雑に変化し重なった互層で形成されています。

2 市勢

項目	年度	H25	H26	H27	H28	H29	Н30	R1	備考
行政区域面積	(ha)	43, 142	43, 184	43, 184	43, 184	43, 184	43, 184	43, 184	年度末現在
行政区域内人口?	※1 (人)	235, 469	235, 162	234, 621	234, 152	233, 341	232, 629	231, 896	年度末現在
行政区域内世帯数	(世帯)	95, 466	96, 402	97, 366	98, 392	99, 221	100, 726	101, 132	年度末現在
DID面積※2	(ha)	2, 703	2, 703	2, 745	2, 745	2, 745	2, 745	2, 745	平成27年国調
DID人口	(人)	138, 858	138, 858	139, 012	139, 012	139, 012	139, 012	139, 012	平成27年国調
市街化区域面積	(ha)	2, 950	2, 950	2, 950	2, 950	2, 950	2, 950	2, 950	年度末現在

^{※1} 行政区域内人口は、住民基本台帳登録者数に外国人登録者数を加えたものとなっている。

^{※2} DID (人口集中地区) とは、国勢調査区を単位地域として、人口密度の高い国勢調査区 (人口密度 1 k m 当 た り 4 千人以上) が隣接して、人口 5 千人以上を有する地域をいう。